

(配布先)  
支店長・副支店長  
施工担当部署長・建設所長  
副部長・副所長・統括工事長  
安全長・安全主任  
工事長・工事主任

事務連絡(2024-67)  
令和7年3月18日

関西支店 安全環境部長

「事故・災害 自分ごと化プロジェクト」の推進について（依頼）

令和6年度 全社安全衛生計画の重点施策に定める「ゼロ災を達成するための行動規範」として、“全員が当事者意識を持ち「自分と仲間の生命と心身の健康を守る」という信念で、「ダブルセーフティ」を基本に、円滑なコミュニケーションのもと、PDCAをしっかりと回す”を掲げています。

しかしながら、災害の多発に歯止めが掛からない状況が続いており、このような状況から脱却するには作業員一人ひとりの危険感受性の向上が欠かせません。

つきましては、当社で発生した事故・災害を自分にも起こりうることと認識し、作業員自らが再発防止策を考える「事故・災害 自分ごと化プロジェクト」を下記の要領で推進してください。

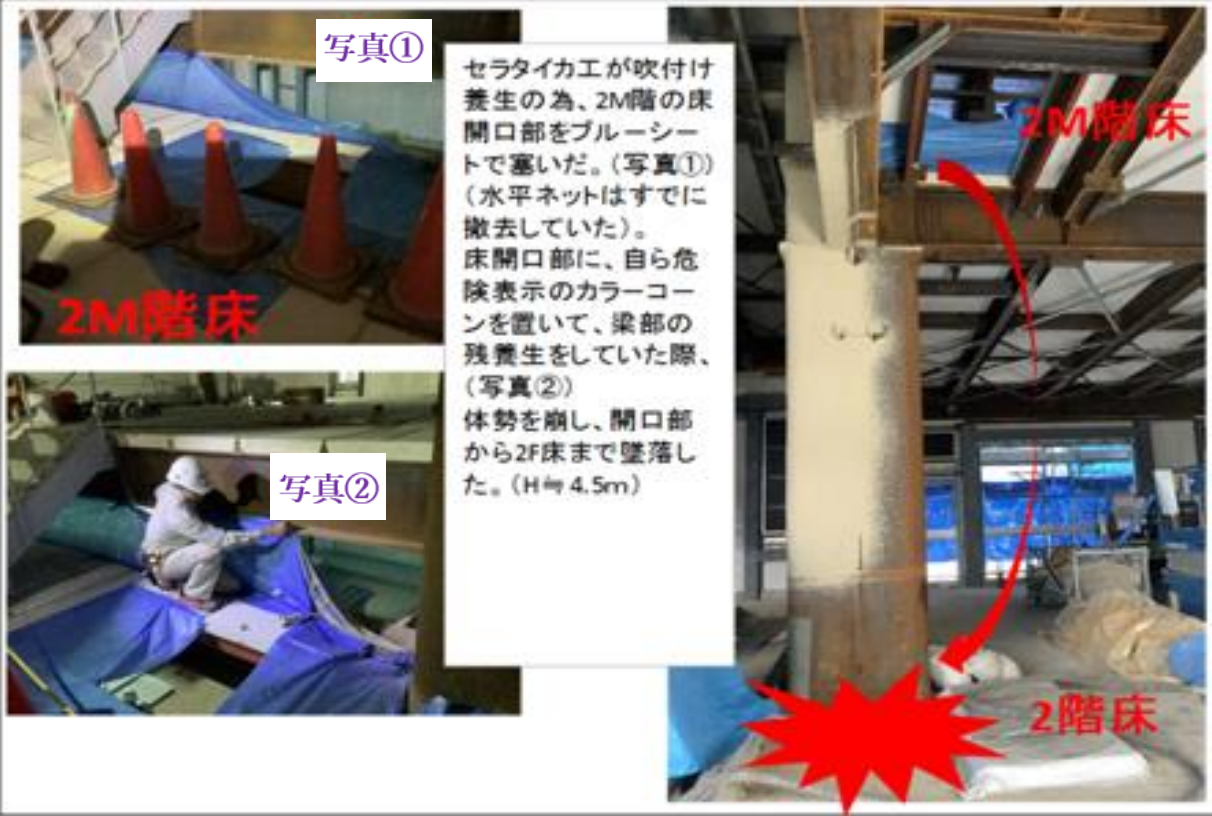
記

1. 実施事項：事故・災害発生状況を示した資料の中から選択し、作業グループごとに意見交換を実施した上で、作業グループとして同種事故・災害を防止するための行動目標を立案し実践
2. 開催頻度：月1回以上  
[例]安全衛生協議会、事業主パトロール、官庁工事「安全勉強会」などの機会に合わせて実施
3. 現場内掲示：立案した行動目標をデジタルサイネージ等により現場に掲示
4. 添付資料：（資料）災害事例

以上

# 【命を守ろう】災害を自分ごととしてとらえる勉強会資料

(墜落)吹付工が床開口部をブルーシートで養生中、体勢を崩して開口部から墜落

発生状況	【発生状況】
 <p>写真①</p> <p>セラタイカ工が吹付け養生の為、2M階の床開口部をブルーシートで塞いだ。(写真①) (水平ネットはすでに撤去していた)。床開口部に、自ら危険表示のカラーコーンを置いて、梁部の残養生をしていた際、(写真②) 体勢を崩し、開口部から2F床まで墜落した。(H=4.5m)</p> <p>写真②</p> <p>2M階床</p> <p>2階床</p>	<p>吹付工が床開口部をブルーシートで養生中、体勢を崩して開口部から2F床まで約4.5m墜落。 (脳震盪、多数骨折、左肩部打撲) (休業見込み日数30日)</p> <p>【原因】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・設備の不備(水平ネット撤去してしまっていた)</li><li>・作業に対して具体的な手順や安全指示がなかった</li><li>・被災者本人が安全帯未使用</li></ul>

【この災害から、自分たちはこうする！】

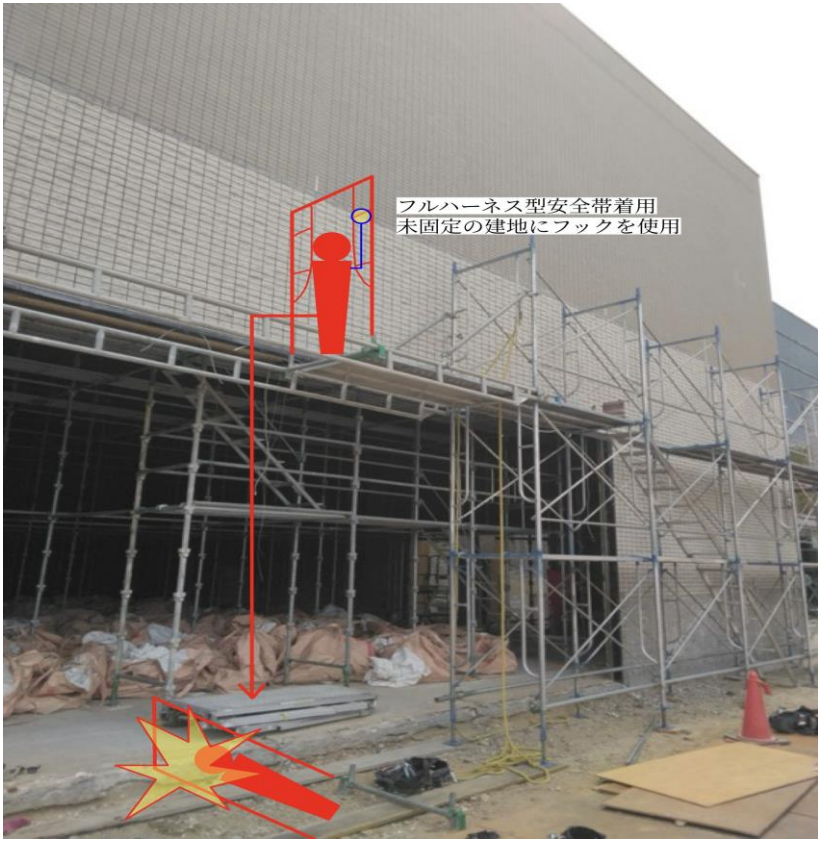
# 【命を守ろう】災害を自分ごととしてとらえる勉強会資料

No.5

足場組立工事

2024年8月発生

(墜落)梁枠上の足場組立作業中、バランスを崩した際に建枠が倒れ、建枠とともに墜落

発生状況	【発生状況】
 <p>フルハーネス型安全帯着用 未固定の建地にフックを使用</p>	<p>梁枠（高さ約3.5m）上で、未固定の建枠に安全帯のフックを掛けて足場の組立作業中、バランスを崩した際に建枠が倒れ、建枠とともに地面まで墜落し、両手首を骨折。 （両手首橈骨骨折・肋骨骨折）（休業見込日数 90日）</p>
	<p><b>【原因】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 足場組立作業手順を理解していなかった。（※手に持って移動しているタテ枠に安全帯を掛けてしまった）</li><li>・ 使用する部材（筋交い）の準備が遅れていたため職長が材料を取りに行っていて一時的に現場を離れて不在だった。</li><li>・ 足場の作業手順について、一般部の手順確認に留まり梁枠部分の詳細手順の確認とリスクアセスメントができていなかった。</li></ul>

## 【この災害から、自分たちはこうする！】

# 【命を守ろう】災害を自分ごととしてとらえる勉強会資料

No.6

コンクリート打設工事  
2024年7月発生

(墜落)生コン車の運転手が、ステップ昇降中に墜落

## 発生状況



約2.2m墜落

## 【発生状況】

生コン車の運転手が、シュートの洗い水をドラム内へ戻すため、生コン車のステップを上から2段目（地上2.17m）まで昇った時に、バランスを崩して敷き鉄板上へ墜落し、左踵骨を骨折した。

(左踵骨骨折) (休業見込日数 90 日)

## 【原因】

- ・両手に布バケツ、給水ホースを持った状態で昇降した。
- ・安全帯が未使用であった。
- ・場内に残コン、洗い水を処理する場所があったが生コン車の運転手に周知ができていなかった。
- ・ステップを昇降する際は、物を持って昇降しないという指示、指導が不足していた。

【この災害から、自分たちはこうする！】



# 【命を守ろう】災害を自分ごととしてとらえる勉強会資料

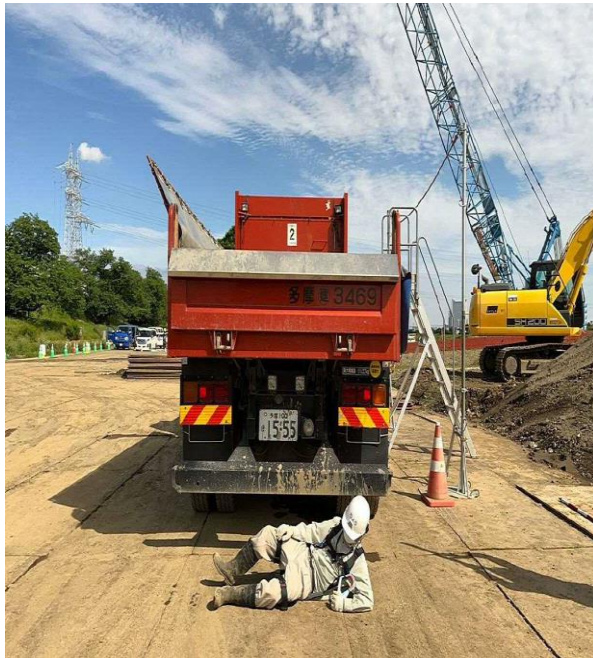
No.9

(墜落)ダンプトラック荷台上で飛散防止用シート掛け作業中に荷台から墜落

土(掘削)工事

2024年5月発生

## 発生状況



是正後



シート掛け状況



## 【発生状況】

10 t ダンプトラック荷台上で、飛散防止用シートを掛ける作業において、後方アオリ付近で、後ろ向きでシートを引張った際に、アオリから墜落。

(肺挫傷, 急性硬膜下血種, 肘肩擦傷)

(休業見込日数 30 日)

## 【原因】

- ・昇降・安全帯用親綱設備はあったが、安全帯不使用であったため適正に使用されなかった(親綱支柱がダンプのタイヤが踏んで固定する移動可能なもの)
- ・ダンプトラック荷台後方に向かって、後ろ向きに進んでしまった。
- ・本人にとって、初めての役割であり1人でのシート掛けに手間がかかっていた
- ・安全帯使用位置がダンプ側面で作業し辛かったので安全帯を使っていなかった。
- ・積込んだ土砂の上は作業し辛かった
- ・ダンプトラックのアオリ上は細くて滑りやすかった。

## 【この災害から、自分たちはこうする！】

Blank area for notes or additional information.

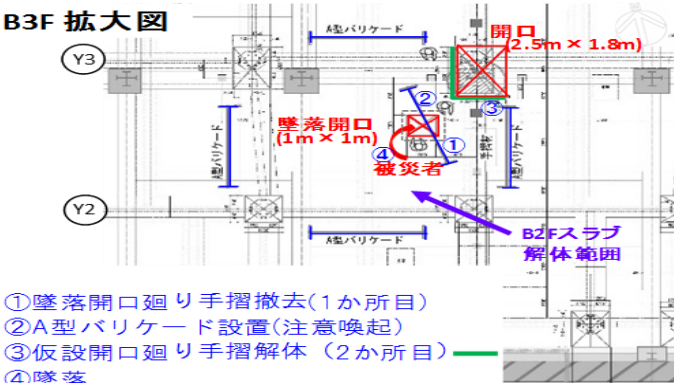
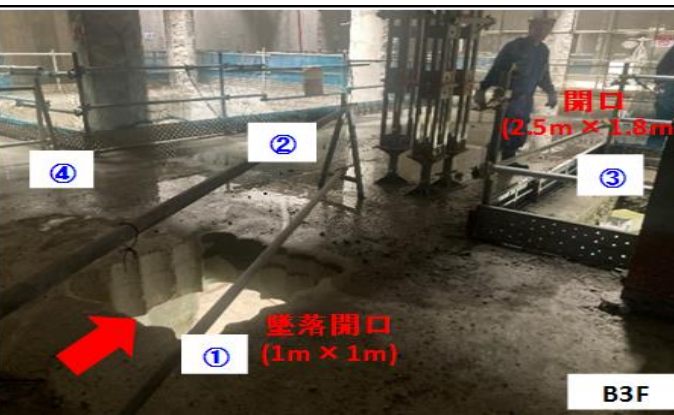
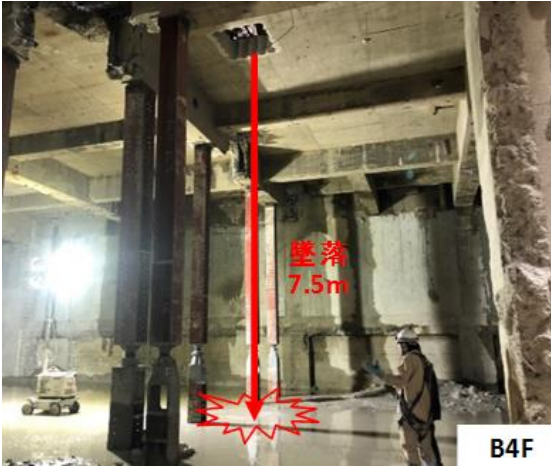
# 【命を守ろう】災害を自分ごととしてとらえる勉強会資料

No.10

解体工事

2024年5月発生

(墜落)解体工事で、荷揚開口から約7.5m墜落

発生状況		【発生状況】
 <p>①墜落開口廻り手摺撤去(1か所目) ②A型バリケード設置(注意喚起) ③仮設開口廻り手摺解体(2か所目) ④墜落</p>		<p>建物解体工事において、B2Fスラブ解体の準備のため、B3Fの開口部手摺の撤去等の作業中、誤って開口部から墜落。</p> <p>(左橈骨尺骨骨折、左腸骨骨折、多発肋骨骨折、他) (休業見込日数 60 日)</p>
		

【この災害から、自分たちはこうする！】

# 【命を守ろう】災害を自分ごととしてとらえる勉強会資料

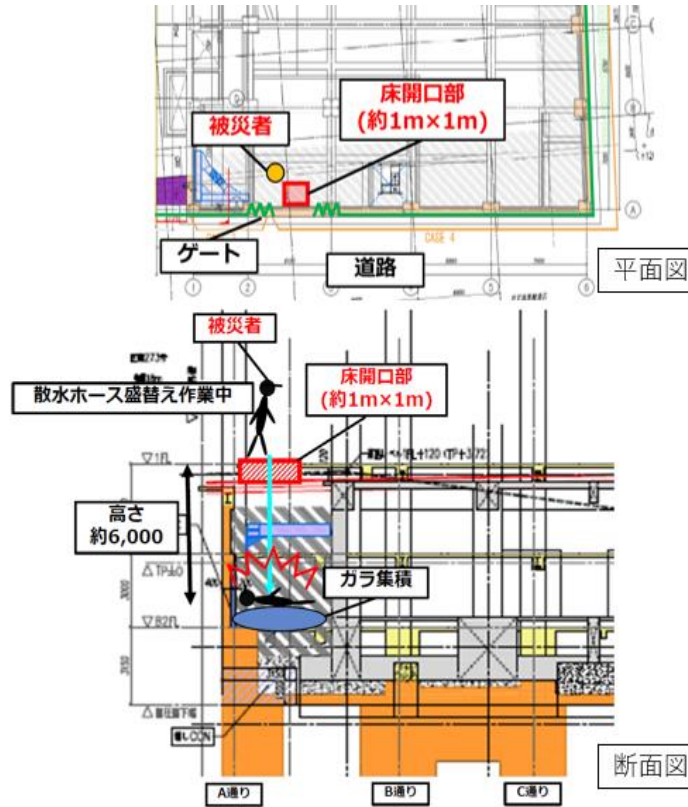
No.11

解体工事

2023年12月発生

(墜落)散水用ホース盛替中の建造物解体工が、ガラ投下開口部から墜落

## 発生状況



## 【発生状況】

1階にあるガラ投下用スラブ開口(1 m × 1 m)周りで、散水用ホース盛替作業中に、床開口部から集積したガラの上に約6 m 墜落。(開口部養生無し、近傍の立入禁止措置なし)  
(肋骨骨折、鎖骨骨折、肺挫傷、血気胸)(休業見込日数 180 日)

## 【原因】

- ・被災者は安全帯未使用
- ・解体工事が遅れたので計画を変更し、新たな開口(被災場所)を開けたが、手摺を設置するなどの基本的な対策が検討されず、安易に作業が進められてしまった。
- ・計画変更が係員と作業員の間で進んでしまい、上職者には変更内容を伝えていなかった。

## 【この災害から、自分たちはこうする！】

Blank area for notes or actions to be taken from this disaster.



# 【命を守ろう】災害を自分ごととしてとらえる勉強会資料

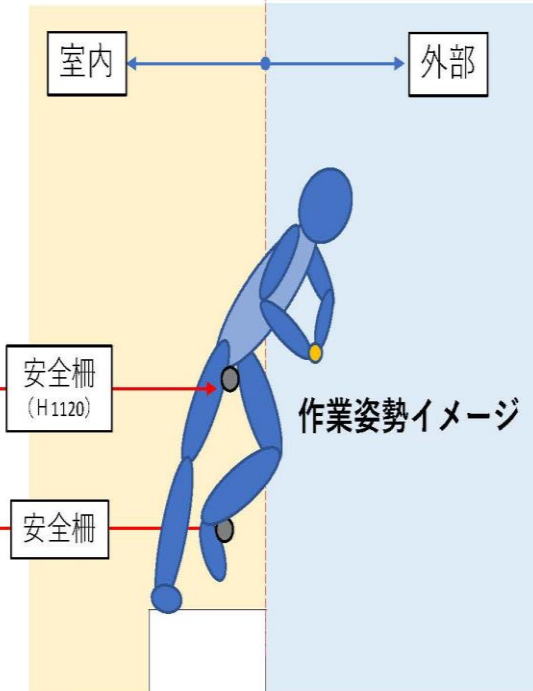
(墜落)金建具工が、避難扉外部側のレバーハンドル取り付け中に墜落

No.12

金属建具工事

2023年11月発生

## 発生状況



## 【発生状況】

避難扉の外部側のレバーハンドルの取付作業において、外部足場が無い状態で、安全帯を使用せず、室内の安全柵に足を掛け、上半身を外部側に乗り出して作業している際に、バランスを崩し、約8m墜落。(肋骨、腰、骨盤、両大腿等骨折)  
(休業見込日数 180 日)

## 【原因】

- ・ 外部足場を払す前に取り付けるべきレバーハンドルが納期に間に合わなかった
- ・ 金属建具工が、外部足場の無い状態で、ドアの外部側のレバーハンドルを取付する際に、安全帯を使用していなかった（室内が仕上がっていたので、安全帯を着装せず作業をしていた）
- ・ 当日足場がない状況で身を乗り出す想定外の作業を周囲(SCや取引業者)が認識していなかった。

## 【この災害から、自分たちはこうする！】

Blank area for notes or additional information.



# 【命を守ろう】 災害を自分ごととしてとらえる勉強会資料

(墜落)クレーン組立指導員が、キャプタイヤの巻き取り作業中に墜落

No.13

クレーン組立工事

2023年11月発生

## 発生状況

午前中の作業状況



災害発生時の状況



## 【発生状況】

屋上設置のジブクレーンの最終調整・走行確認が終了し、可搬式作業台を使用して走行レール上に昇り、安全帯を使用せずキャプタイヤの巻き取り作業を行っている際に、バランスを崩して、2.3m墜落。(肋骨3本、背骨一部骨折)  
(休業見込日数 0 日)

## 【原因】

・安全帯をかける設備を撤去してしまっていた為、安全帯を使用していなかった

## 【この災害から、自分たちはこうする！】

--

# 【命を守ろう】災害を自分ごととしてとらえる勉強会資料

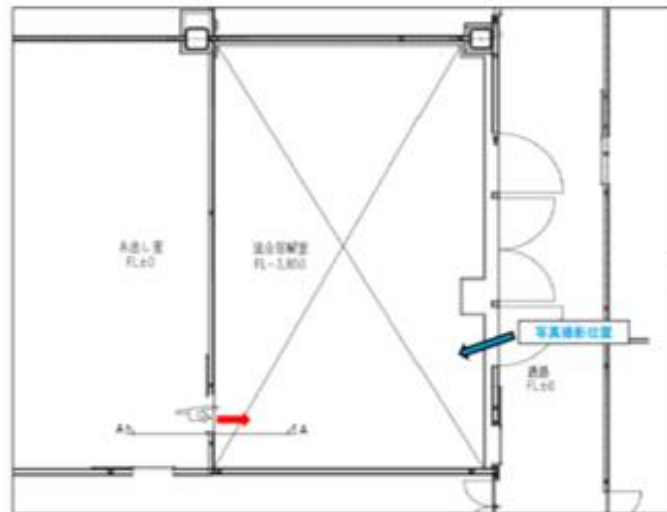
(墜落)設備設計長が誤ってピットに墜落

No.14

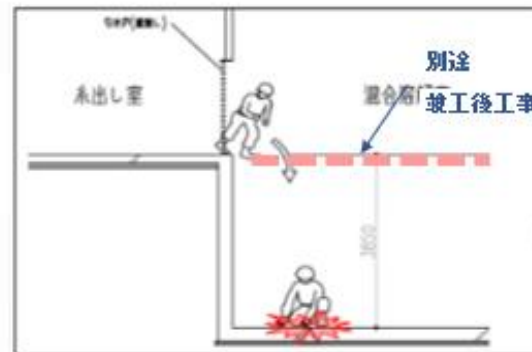
竣工検査 監督員

2023年7月発生

## 発生状況



平面図



A-A 断面図

## 【発生状況】

PES棟混合溶解室で引渡し前に検査時の指摘が是正されているかを確認しに行った際、室内が暗かったので照明スイッチを探そうとしてピットに墜落。

(両踵骨折、第12胸椎、第1.2.4腰椎椎体骨折、他)

(休業見込日数 90 日)

## 【原因】

- ・ 竣工検査と言えども、解除してはいけない立ち入り禁止区画を取り除いてしまっていた
- ・ グレーチングの床が別途業者により施工される契約形態となっていたため、床が施工されていなかった(被災者はこの情報を知らなかった)
- ・ ドアには鍵がついておらず、表示もなかった

## 【この災害から、自分たちはこうする！】

Blank area for notes or actions to be taken to prevent such incidents.

# 【命を守ろう】災害を自分ごととしてとらえる勉強会資料

No.15

(墜落)高所作業車から電気ラックに乗り移る際に墜落

電気工事

2023年6月発生

## 発生状況



## 【発生状況】

高所作業車を使用し、高さ約5mの作業位置で区画貫通処理作業中、寸切ボルトに安全帯を掛けた上で、安全帯を掛けた全ネジを手がかりとして電気ラックに乗り移ろうとした際、安全帯及び手を掛けていた寸切りボルトが根本から外れ、バランスを崩して墜落。  
(右足立方骨骨折、左脛骨高原骨折)(休業見込 60 日)

## 【原因】

- ・ 施工個所が高所作業車からでは手が届かなかったため、高所作業車からの乗り移りという禁止行為を行った。
- ・ 施工個所が高所作業車では近寄れない場所であることを把握しきれていなかった。
- ・ ケーブルラック幅と横にある消火配管により作業員の手が届かない箇所に区画があり、ラック上に乗らなければ作業ができなかった。

## 【この災害から、自分たちはこうする！】

--